

令和元年度事業報告書

1 概 要

令和元年度は以下に重点をおいて事業を実施した。

- (1) 国、地方公共団体からの受託調査について、都市づくりの最重要の行政的課題であるコンパクト・プラス・ネットワークの推進に関連して、既成市街地の再整備や持続可能な都市再開発事業のあり方に係る検討、立地適正化計画の策定等の業務を中心に受託し、成果を上げた。

- (2) 平成28年度から国等の協力のもと継続している自主事業「エリアマネジメント実務勉強会」は、昨年と同様に日本都市計画学会エリアマネジメント人材育成研究会（研究交流分科会A）との共催により実施し、全国から77名（地方公共団体20名、民間等57名）の参加があった。

- (3) 事務局業務を行っている、地方公共団体を会員とするまちづくりの協議会について、コンパクト・プラス・ネットワークの推進のために、計画制度としての立地適正化計画制度と事業制度としての都市再生整備計画事業の活用を支援する「コンパクトなまちづくり推進協議会」（平成30年 従前組織を改組して発足）を運営し、会員の拡大、活動の活性化を図った。
また、「コンパクトなまちづくり大賞」及び「先進的まちづくり大賞」2つのまちづくりの表彰制度を実施した。

- (4) 同様に当財団が事務局業務を担っている都市地下空間活用研究会（地下研）とアーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）についても、会員メンバーと共に調査研究活動や講演会、見学会を積極的に実施した。

- (5) 土地活用の成功モデル等を募集し、優れた事例の表彰を行なう「土地活用モデル大賞」について、16回目の実施となる令和元年度は、最近の土地活用の動向等を踏まえ、募集要領に「環境（Environment）」「社会（Social）」「ガバナンス（Governance）」の観点为例示するなど募集内容の一部を見直した。国土交通大臣賞1点、都市みらい推進機構理事長賞1点、審査委員長賞2点、の計4プロジェクトを選定した。

2 事業の実施状況

(1) 会議の開催

次のとおり理事会、評議員会を開催した。

(イ) 理事会

- ・第20回理事会 令和元年6月4日

(於：都市計画会館)

議案	平成30年度事業報告(案)及び収支決算(案)について 平成30年度公益目的支出計画実施報告書(案)について 理事及び監事の推薦について 第8回定時評議員会の招集について
報告事項	財産の運用状況について 賛助会員の状況について

- ・第21回理事会 令和2年3月26日(書面決議)

議案	令和2年度一般財団法人都市みらい推進機構事業計画(案)及び収支予算(案)について 一般財団法人都市みらい推進機構職員給与規程の改正(案)について
----	---

参考	一般財団法人都市みらい推進機構役員の報酬等の支給に関する規程の改正の方向について
----	--

(ロ) 評議員会

- ・第8回定時評議員会 令和元年6月24日

(於：都市計画会館)

議案	平成30年度事業報告(案)及び収支決算(案)について 平成30年度公益目的支出計画実施報告書(案)について 評議員の選任について 理事の選任について 監事の選任について
----	--

報告事項	平成31年度事業計画及び収支予算について 財産の運用状況について 賛助会員の状況について
------	--

(2) まちづくり情報交流活動

(イ) 「先進的なまちづくり事例のご紹介」ページの運営

先進的なまちづくり事例等の情報を全国に提供するため、当機構のホームページに、公民連携、柔軟な市街地整備、エリアマネジメントなどをキーワードとして、全国で展開されている先進的なまちづくり事例等を紹介するページを設けているが、昨年度までに累計 224 件を紹介した。

- ・「多様なまちづくり事例」編 21 件
- ・「まち交大賞」編 111 件
- ・「土地活用モデル大賞」編 92 件

(ロ) 「まち交ネット」の運営管理

「都市再生整備計画事業」に関する各種情報を提供するため、平成 16 年に開設し運営してきた「まち交ネット」において、「都市再生整備計画」の検索システムに加え、全国の各都市で策定が進められている「立地適正化計画」の情報に関する検索システムを付加し、随時更新している。

(3) 調査研究

(イ) 受託調査

国、地方公共団体等から、新しい時代に即したまちづくり調査等を 8 件受託し、実施した。

① 国等からの受託調査 (2 件)

- ・ 今日的な課題に柔軟に対応した新たな市街地整備開発事業手法の検討業務 (国土交通省都市局)
- ・ 低未利用ストックの利活用促進に向けた地域マネジメント手法に関する調査研究業務 (国土交通省国土交通政策研究所)

② 地方公共団体からの受託調査 (3 件)

- ・ 高崎市立地適正化計画 (案) 策定に向けた支援業務 (群馬県高崎市)
- ・ 高崎市立地適正化計画に係る GIS データの編集業務 (群馬県高崎市)
- ・ 豊洲グリーン・エコアイランド構想施策支援業務委託 (東京都江東区)

③ 民間等からの受託調査 (3 件)

- ・ 南池袋二丁目 C 地区市街地再開発事業に伴う設計施工等
一括業務委託先選定業務 (南池袋 2 丁目 C 地区市街地再開発準備組合)

- ・ 西麻布三丁目北東地区第一種市街地再開発事業特定業務代行者
選定手続き業務（西麻布三丁目北東地区市街地再開発準備組合）
- ・ 大宮駅西口第3-B地区第一種市街地再開発事業特定業務代行候補者
選定審査業務（大宮駅西口第3-B地区市街地再開発組合）

(ロ) 自主研究

- ① 立地適正化計画及びその実現手法としての都市再生整備計画事業の推進に向け、継続して立地適正化計画策定や事業実施上の疑問点、課題等の実務的なノウハウの蓄積に努めた。

その一環として、「コンパクトなまちづくり推進協議会」と連携し、現地視察研修を含めた「立地適正化計画実務勉強会」と「コンパクトなまちづくり実務勉強会」の2本立てで実施した。

- ② 平成28年度より自主事業として取組んできた「エリアマネジメント実務勉強会」について、エリアマネジメント研究の第一人者（保井美樹法政大学教授）、国土交通省、先進的な4つの事例を講師に迎え実施した。実務者により有用な勉強会を目指すため、平成30年度と同様に、日本都市計画学会エリアマネジメント人材育成研究会との共催として勉強会プログラムの充実化を図った。

- ③ 全国のまちづくり事例を収集・整理し、情報発信するものとして、当機構のホームページにおける「先進的なまちづくり事例のご紹介」を継続した。

(4) 表彰事業等まちづくりに関する普及啓発活動

(イ) 第1回コンパクトなまちづくり大賞の表彰

主 催：コンパクトなまちづくり推進協議会、(一財)都市みらい推進機構
後 援：国土交通省

国土交通大臣賞は、まちづくり月間「まちづくりと景観を考える全国大会(令和元年6月14日)」において表彰を行い、その他の賞については「コンパクトなまちづくり推進協議会第2回定期総会」(同年7月30日)に表彰を行った。

【総合戦略部門】

- 国土交通大臣賞 藤枝市（静岡県藤枝市）
- コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞
西脇市（兵庫県西脇市）

【個別事業部門】

- 国土交通大臣賞
 都城中央地区（宮崎県都城市）
- 都市みらい推進機構理事長賞
 釧路中心拠点地区（北海道釧路市）

(ロ) 第1回先進的まちづくり大賞の表彰

- 主 催：コンパクトなまちづくり推進協議会、(一財)都市みらい推進機構
- 後 援：国土交通省

国土交通大臣賞は、まちづくり月間「まちづくりと景観を考える全国大会(令和元年6月14日)」において表彰を行い、その他の賞については「コンパクトなまちづくり推進協議会第2回定期総会」(同年7月30日)に表彰を行った。

- 国土交通大臣賞
 月岡温泉地区「歩いて楽しい温泉街へ」空き家・空き店舗再生事業
 応募者：合同会社ミライズ（新潟県新発田市）
- 都市みらい推進機構理事長賞
 川西市キセラ川西地区 キセラ川西整備事業 -「PFI と低炭素と
 市民参加のまちづくり」(兵庫県川西市)

(ハ) 第2回コンパクトなまちづくり大賞の選出

- 主 催：コンパクトなまちづくり推進協議会、(一財)都市みらい推進機構
- 後 援：国土交通省

「コンパクトなまちづくり大賞」は、令和元年11月、各地方整備局、都道府県等の協力を得て、市区町村に対し募集を行い、以下の各賞を審査委員会において審査中である。

【総合戦略部門】

- 国土交通大臣賞
- コンパクトなまちづくり推進協議会会長賞

【個別事業部門】

- 国土交通大臣賞
- 都市みらい推進機構理事長賞

(ニ) 第2回先進的まちづくり大賞の選出

主 催：コンパクトなまちづくり推進協議会、(一財)都市みらい推進機構
後 援：国土交通省

「先進的まちづくり大賞」は、令和元年11月、各地方整備局、都道府県等の協力を得て募集を行い、以下の各賞を審査委員会において審査中である。

- 国土交通大臣賞
- 都市みらい推進機構理事長賞

(ホ) 第16回土地活用モデル大賞

主 催：(一財)都市みらい推進機構
後 援：国土交通省

表彰式：令和元年10月30日(水) / 於：アルカディア市ヶ谷
受賞プロジェクト：

- 国土交通大臣賞(1点)
 - ・防災体験型宿泊施設「KIBOTCHA(キボッチャ)」(宮城県東松島市)
- 都市みらい推進機構理事長賞(1点)
 - ・シラハマ校舎(千葉県南房総市)
- 審査委員長賞(2点)
 - ・多摩平の森 て・と・てテラス(東京都日野市)
 - ・熊本城桜の馬場「桜の小路」飲食物販施設設置事業(熊本県熊本市)

(5) 講演会・意見交換会・プロジェクト説明会等の開催

(イ) 土地月間記念講演会

開催日：令和元年10月30日(水)

主 催：(一財)都市みらい推進機構、(一財)土地総合研究所
(一財)土地情報センター、(一財)不動産適正取引推進機構
(公財)不動産流通推進センター

後 援：国土交通省、(一財)民間都市開発推進機構、(一財)日本不動産研
究所、(株)日本政策投資銀行

会 場：アルカディア市ヶ谷

演題及び講師：

- ・令和1年度土地活用モデル大賞各賞の概要説明 各受賞者 代表
- ・記念講演

「札幌駅前通地区のエリアマネジメント」

札幌駅前通まちづくり株式会社 統括マネージャー 内川 亜紀 氏

「環境・社会の持続性向上に貢献する都市計画・まちづくり」
東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 准教授 村山 顕人 氏

(ロ) 都市みらい・地下研（後述）・UIT（後述）合同講演会

① 第36回合同講演会

開催日：令和元年8月30日（金）

会 場：都市計画会館

演 題：「首都圏鉄道網の昨日と未来」

講 師：東京都交通局研修所 研修担当課長 岩城 政和 氏

② 第37回合同講演会

開催日：令和元年11月25日（月）

会 場：都市計画会館

演 題：「まちの価値を発掘するストリートデザイン・マネジメント」

講 師：横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院

助教 三浦 詩乃 氏

(ハ) 都市みらいプロジェクト説明会

「晴海五丁目西地区第一種市街地再開発事業」（UIT と共催）

開催日：令和元年10月15日（火）

場 所：ハルミフラッグパビリオン（三井不動産レジデンシャル）

晴海五丁目西地区現場事務所（東京都中央区）

(ニ) 都市みらい調査研究報告会、講演会及び意見交換会

開催日：令和元年7月22日（月）

会 場：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター

○調査研究報告会

- ・平成30年度受託調査・自主研究の概要
- ・ACUUS 国際会議 2018 について
- ・コンパクトなまちづくり推進協議会について

○講演会

講演 1 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授 横張 真 氏

「今後のまちづくりへの期待」

～ 気候変動化の都心におけるオリンピック開催とオリンピック
レガシー ～

講演2 国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室長

三浦 良平 氏

「まちづくりに関する最近の話題」

寄稿1 日本大学理工学部土木工学科 教授 中村 英夫 氏

「都市計画とオープンデータ」

○意見交換会

賛助会員と国土交通省都市局及び土地・建設産業局の幹部との意見交換を実施した。

(ホ) 令和元年度エリアマネジメント実務勉強会の実施

近年の我が国では、エリアマネジメントの取組事例が全国的に増えつつあるものの、内容がよく分からない、具体的なイメージが湧きにくいという考え方が依然多く聞かれる。本勉強会は、このような状況を受け、平成28年度よりエリアマネジメントの裾野拡大を図るために実施するもの。

4回目の実施となる令和元年度は、講師である法政大学の保井美樹教授、国土交通省の官民連携推進室長を通じて同大学、同省の協力を得つつ、日本都市計画学会エリアマネジメント人材育成研究会（同上）との共催により実施した。

【実施概要】

- ・日 時：令和元年11月19日（火）13:00～17:00
- ・場 所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター（新宿区市ヶ谷）

【勉強会プログラム】

(1) 講演会

①オープニングスピーチ

法政大学教授、全国エリアマネジメントネットワーク副会長 保井美樹氏

②国土交通省からの情報提供

都市局まちづくり推進課官民連携推進室長 三浦良平氏

③エリアマネジメント事例報告

錦二丁目エリアマネジメント株式会社 名畑恵氏

森ビル株式会社タウンマネジメント事業部虎ノ門ヒルズ

エリア運営グループ 中裕樹氏

多治見まちづくり株式会社 岡部青洋氏

一般社団法人まちなね浜甲子園 奥河洋介氏

(2) オープントーク

上記の講演者、日本都市計画学会エリアマネジメント人材育成研究会（研究交流分科会A）のメンバーが登壇し意見交換。

- ① エリアマネジメントをどう進めるか
- ② エリアマネジメントのプレイヤーとは

(へ) 都市みらい通信 (IFUD LETTER) の発行

都市みらい通信を原則毎月発行し、機構の活動状況やまちづくり関連ニュース等を提供した。同時にホームページにも掲載した。

(6) 「都市再生整備計画コーディネート事業」の実施

都市再生整備計画コーディネート事業（「都市再生整備計画事業」を行う市区町村の求めに応じて、当機構の審査に基づき登録された専門家（コーディネーター）を派遣し、都市再生整備計画策定、事後評価等に対し指導・助言・提案等を行う事業）を継続して実施し、市区町村からの相談に応じた。

(7) まちづくり関連諸団体の支援

事務局として次のような団体の活動を支援した。

(イ) コンパクトなまちづくり推進協議会

① 第2回定期総会、表彰式、まちづくり講習会

日 時：令和元年7月30日（火）13:00～16:40

場 所：すまい・るホール

- 1) 第2回定期総会
- 2) 表彰式

第1回コンパクトなまちづくり大賞、第1回先進的まちづくり大賞表彰式
(内容は上記(4)イ、ロに記述)

3) まちづくり講習会

1. 国土交通省都市局からの情報提供

都市行政に関する最近の話題 都市計画課課長補佐 松村知樹 氏
都市再生整備計画事業等に関する最近の話題

市街地整備課係長 青山琢人 氏

2. 人口減少社会に挑戦する藤枝市のまちづくり

藤枝市都市建設部都市政策課長 小柳津好弘 氏

3. 都城市中央地区（宮崎県都城市）事業概要

都城市商工観光部商工観光課長 横山哲英 氏

4. 月岡温泉「歩いて楽しい温泉街へ」まちづくり事業

合同会社ミライズ執行社員 飯田武志 氏

② 全国研修会（下妻市）

期 間：令和元年10月9日(水)～10日(木)

場 所：下妻市立図書館映像ホール(茨城県下妻市)

1) まちづくり講演会

- ・「町で人を元気にするプレイスメイキングの手法と展望」

筑波大学芸術系准教授 渡 和由 氏

2) 都市再生整備計画事業講習会

- ・「最近の市街地整備に関する話題について」

国土交通省都市局市街地整備課長 渡邊浩司 氏

- ・「関東地方における地域特性を活かした特色あるまちづくり」

国土交通省関東地方整備局建政部都市整備課長 熊木雄一 氏

- ・「砂沼周辺地区都市再生整備計画事業」

下妻市都市整備課課長補佐 井上 規 氏

3) まちづくり現地視察研修

日 時： 令和元年10月10日(木) 9：10～

視察地区： 下妻市砂沼周辺地区他

③立地適正化計画実務勉強会（松山市）

期 間：令和元年5月30日(木)～31日(金)

場 所：松山市民会館

1) まちづくり講演会

- ・「松山市のまちづくり～アーバンデザインセンターのまちづくり～」

愛媛大学社会共創学部准教授（松山アーバンデザインセンター

副センター長）羽鳥剛史 氏

2) 立地適正化計画事業講習会

- ・「都市行政に関する最近の話題」

国土交通省大臣官房技術審議官 徳永幸久 氏

- ・「四国地方におけるコンパクトなまちづくりについて」

国土交通省四国地方整備局建政部都市調整官 下平弘和 氏

- ・「松山市のコンパクトシティ・プラス・ネットワークの取組」

松山市都市整備部まちづくりデザイン推進官 石井朋紀 氏

3) 立地適正化計画現地視察研修

日 時：令和元年5月31日(金)9：00～

視察地区：市中心部～道後地区を電車及び徒歩にて視察

④コンパクトなまちづくり実務勉強会

日 時：令和2年2月3日(月) 13：00～17：15

場 所：都市計画課会館会議室

テーマ：立地適正化計画と広域連携・スマートシティ

・「都市行政に関する最近の話題」

国土交通省都市局都市計画課課長補佐 村松知樹 氏

・「中部播磨圏域の立地適正化の方針について～播磨圏域鉄道沿線まちづくり協議会」

姫路市都市局まちづくり推進部都市計画課技術主任 田代雅孝 氏

・「未来都市うつのみや」を目指して 提案団体：Uスマート推進協議会」

宇都宮市総合政策部政策審議室スマートシティ担当主幹

上吉原正弘 氏

・質疑応答

(ロ) 都市地下空間活用研究会（地下研）

① 総会・評議員会等の開催

令和元年6月18日（火）に総会及び評議員会を開催した。

② 調査研究活動

1) 大阪分科会

昨年度に引き続き、関西エリアの地下空間活用に関連した動向収集をセミナー形式で進めている。令和元年度は7月と10月の計2回のセミナーを開催し、「神戸市都心・三宮再整備について」並びに「地下利用マスタープランについて」をテーマとした。また、「ホワイトティうめだ2期スケルトン化による大規模改修工事」の視察会も開催した。

2) 地下利活用検討分科会

課題を抱える地下街の今後の在り方、さらに地下街が再生するための方策を見出すことを目的として、複数年に亘る調査、検討を開始した。初年度は既存地下街の基本性状の調査・確認、類型化のための性状分析、「新宿サブナード」及び「ハルネ小田原」の現地調査などを実施した。

3) 都市開発との連携分科会

調整の技術的体系のひとつとして地下利用マスタープランを取り上げ、

その必要性、有用性を調査し、その策定と適切な運用について提言することを目的として、2か年の予定で調査を開始した。今年度は国内では大丸有地区、渋谷地区、海外ではヘルシンキの地下利用マスタープランの事例調査、文献調査を行った。

4) 地下防災に関する情報提供

これまでの研究実績をもとに、国土交通省、報道機関等に情報提供を行った。また、国土交通省が取りまとめた「地下街防災推進事業制度の解説と地下街の取組事例」をニューズレターに掲載し周知した。

③ 国際交流活動

令和元年11月5日、日本大学理工学部1号館6階CSTホールにおいて、土木学会地下空間研究委員会と共催し、日本大学理工学部土木工学科の後援を得て、ルイジアナ工科大学名誉教授でACUUSのFellowを務めるRaymond Sterling先生による「維持管理国際ジョイントセミナー」を開催した。

④ 講演会等の開催

講演会を3回、懇話会を3回、施設見学会を3回実施した。

(ハ) アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 (UIT)

① 総会・評議員会等の開催

令和元年6月18日(火)に総会及び評議員会をそれぞれ開催し、記念講演会を行った。

② 技術研究発表会の開催

令和元年11月15日(金)に丸ビルホール&コンファレンススクエア(東京会場)において第31回技術研究発表会を開催した。国、地方公共団体、民間企業等から13編の論文および7編のプロジェクト・技術報告が発表された後、令和元年度に発足したスマートシティWGの中間報告を含めた特別講演会を行った。参加者数は178人であった。

また、令和2年2月6日(木)に建設交流館(大阪会場)において、本発表会で表彰を受けた4編の論文の発表と講演会を行った。

③ 交流展示会の開催

令和元年11月15日(金)に、丸ビルホール&コンファレンススクエアにおいて第26回交流展示会を開催した。国、地方公共団体、民間企業等10団体が展示を行った。

④ 都市基盤技術サイト「てく Tech まちさんぽ」の管理・運営の実施

平成28年9月末に公開した「てく Tech まちさんぽ」及び公式 Facebook ページでの情報発信を実施中である。特に、昨年2月からは国土交通省及び参加各社の新しい取組みに関するプレスリリース等をトップページ・最新情報に掲載中である。

URL : <https://www.uit.gr.jp/info-portal/>

⑤ 講演会等の開催

講演会を5回、意見交換会を2回、交流見学会を2回開催した。

別紙 令和元年度事業報告に係る附属明細書について

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書を作成しない。